

あさみ会報

朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町 209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52-0007

2013.12.20 発行
第45号



緊張の中でふれあい防災訓練

非常時のスリッパ作りや卵殻踏み体験も

第9回に 420人が参加

第9回朝見地区ふれあい防災訓練が12月1日、朝見小学校で行われた。子どもからお年寄りまで全地区から約420人が参加し、本番さながらの訓練に取り組んだ。

午前8時半、大規模な地震が発生した。の想定で始まり、間もなく朝見災害対策本部が同小学校に設置された。各地区では炊き出しが始まり、災対本部には各自治会長から、それぞれの避難状況や安否確認が報告された。

開会式は10時からグラウンドであり、北川敏雄副会長が「多くの皆さんの協力で回を重ねている。この経験を糧に万々に備えたい」とあいさつ。田所桂防災部会長の指揮でバケツリレー消火や要援護者避難、倒壊家屋に残されたけが人を救出する訓練を展開した。また、天ぷら油に

引火させた火災実験や朝田、和屋、下七見、佐久米、古井各町の消防団による放水訓練のほか、広域消防組合の協力で、地震体験車に乗ったり、煙の中をくぐり抜ける体験もした。

このほか体育館では市社会福祉協議会の担当者

が新聞紙を用いた非常時用のスリッパ作りを紹介したり、子ども向けにはカルタやクイズで防災に対する認識を深めた。昼は、炊き出しのおにぎりや豚汁を各地区ごとに会食。「さらに多くの参加を」と呼びかける田端孝連自治会長の式辞で幕を閉じた。

三重大教授と未来を懇談

魚の生息環境保全へ

朝見地区の小川などに生息するタナゴやフナなどの水生生物、植物の保護を考えるための学習会が12月3日、朝見小学校であった。

朝見小学校で、3号幹線水路に常時水を流して、生態系を保護する狙いで、この日は高山進三重大学教授と学生2人が、地区の調査を兼ねて訪れ、小林豊地域環境部会長ら6人が2時間近くにわたって説明を受けた。

まちづくり側からは、条里制が残る小川の水が濁水期には干上がるために「さかな救出作戦」を展開していることや、ほ場整備計画の中に



いーの声も聞かれた。写真は小学校の玄関に設置されている水槽。救出されたメダカ、タナゴがいる。

先進地の朝見に 視察相次ぐ

地域内分権の先進地として注目を集める朝見まちづくり協議会は、全国各地の視察を受けている。近年は特に白羽の矢が立てられ、10月4日には、亀山市地区コミュニティ連絡協議会の代表28人の質問に答えた。

亀山市の場合は会場の関係で、午前10時から松阪市役所であり、朝見側から9人と市職員4人が参加した。北川敏雄副会長が設立経緯や運営上の課題などを説明したほか、田上勉史副会長が1年度に受けた防災大賞を「地域の和と協力のたまもの」と強調。「防災連携意識は、まちづくりを立ち上げる大きな原動力の一つになった」と紹介した。

八尾市から 27人が訪問

防災訓練前日の11月30日

には大阪府八尾市久宝寺の一行27人が訪れた。同様にまちづくり組織の結成を模索中で、「ネット検索で朝見を知った」といい、事業所との協定や、防災訓練の方法などについて熱心な質問を受けた。特に、万々に備えた居住区割り訓練は興味深

げで、田所部会長らが丁寧に説明した。参加者からの質問も多く、意欲的だった。

研修も積極的に 実施して成果

東日本大震災の被災地の

9月8日には38人が、阪神淡路大震災の震源地である北淡震災記念公園にバスで向い、語り部の話を聞いたほか、野島断層保存館などを見学した。

清掃美化は 意識向上

10年目を迎える榊田川幹線水路一斉清掃・美化活動が10月から11月にかけて行われ、計523人が参加した。当初予定日は台風26号の影響で中止となったが、各自治会の取り組みで順次作業が進められた。



活動を推移について小林豊地域環境部会長は「活動が始められたころは、不法に投棄された自転車や金属類が多く、これが幹線水路と見間違っただった。重機で取り除いたこともあったけれど、近年は美化意識が高まった。地区の大きな活動として定着した」と成果を称賛している。

中村さんは「安心のまちづくりこそが自治会の使命」を持論にしており、当時の模様を生々しく語りながら、「組織が動くのではなく、その時その場にいる人が動く」「避難場所が普段から決めておく」と話し、万一の場合には各人の行動が重要と説いた。



403食を販売 大人気の朝見味ごはん

松阪牛まつりで結束力を発揮

息を合わせたチームワークで403食を午前11時半までの1時間半で完売、朝見ならではの見事な底力を見せた。

味ごはんは、朝見産のコシヒカリを使用、和田金の特産松阪牛肉を豊富に入れたほか、ゴボウ、ニンジン、糸コシニヤク、シメジを加え、女性スタッフが朝見公民館で2升炊きのガス釜7基で3度炊き上げた。

これを男性陣が軽四トラックなどで会場に搬送、テーブルに並べながら「おいしい弁当はいかがですか」「朝見の味付けをぜひどうぞ」などとアピールしながら販売した。女性人の卓越した味付けは従来から折り紙付きで、風前には行列が出来るほどの人気。ある別の住民協議会の関係者は「このような活動は経済効果だけでなく、地域の和も生み出す。早くまたねたい」と活動を称賛しながら、買

11月24日、松阪市伊勢寺町の松阪農業公園・ベルファームで開かれた松阪牛まつりで、今年も自慢の味ごはんを販売した。09年から続く恒例のイベントで、世代を超えた多くの関係者が度重なる打ち合わせ会議と、前日の材料買い出しを含めた入念な準備など



地域ぐるみで夕涼み 夏祭り大にぎわい しよんがい音頭も輪を広げ

7回目を迎えた「あさみ夏まつり」が8月3日午後7時から、朝見小学校グラウンドで開催された。子供1000人、一般250人が参加、屋台と踊りと花火などでしばし交流を深めた。



今年若きカップルのストリートダンスでオープニング。中央では、朝見の地蔵さんから借りた屋台を囲んで、しよんがい踊りがにぎやかに繰り広げられ、参加した踊り手の先着70人に、きつするの商品券(500円)がプレゼントされた。初めての試みは好評だったという。

また、体育館前のテントでは焼きソバ、フランクフルト、フライドポテト、かき氷などが楽しく売られ、光るおもちゃや、ヨーヨー釣りが夏休み中の子どもの人気の集めた。このほか、威勢良い花火が夜空に打ち上げられ、「タマヤ」のかけ声で夕涼みの一時は幕を閉じた。

楽しく歌いました 花を前に芸能大会

第8回朝見ふれあい芸能大会が10月19日、小学校体育館であった。

20組が出場して自慢のものを披露、中には特注の舞台衣装で登場の参加者もあり、大会を盛り上げた。関係者が審査の結果、アンコール大賞には和屋町の北川ちえさんが選ばれ、最後にもう一度「ふるさと太鼓」を熱唱して大きな拍手を集めた。



ストレッチで 元気づくり

元気な体づくりを目指す「第1回もつと歩こう」が10月27日午後1時半から朝見小学校体育館であった。お母さんたちを中心に24人が参加し、健康センター担当者の講和のあとインストラクターが効果的なウォーキングとストレッチを指導した。参加者たちは2時間にわたり、みっちり体を動かした。

会場にはたくさん菊やラン、マリーゴールドが文字通り花を添えた。また、今年も災害協賛企業を中心に多くの協賛が寄せられ、恒例の抽選会には自転車、ストーブなどが用意され、会場を訪れた約200人はステージを楽しんだあとの空くじなしのプレゼントにニコニコ顔だった。

牧戸美津子福祉部会長によると、「運動不足が解消できなかった」「なかなかスポーツジムには通えない。小学校でプロのインストラクターから本格的なストレッチが学べるなんて」とどの顔も満足げだった。



児童が巡回 青パトに同乗

10月25日から29日までの5日間、朝見小学校の3年生18人が1日子供パトロール隊員となり、青パト車に同乗して町内巡回に同行した。活動に参加させることで防犯意識を子どもたちの中に育てるのが狙いだ。

初日には出発式があり、葛谷光繁副会長があいさつのおと、安達薫防犯部会長から記念品のノートが渡された。第1班は3人で、車に乗り込み、上級生や下級生が下校時する通学路を通り抜けながら、「車や不審な人には注意をしましょう」などとそれぞれ言葉で、訴えた。子どもたちは「マイクに向かうとちよっぴり緊張したけど、面白かった」などと話した。

ひよこ教室は 7回開催



幼児の健やかな教育に役立てようと、今春から旧あさみ幼稚園2階遊戯室で「ひよこ教室」が始まり、これまでに7回実施された。5月19日に第1回が「みんな仲良しのテーマ」であり、絵本の読み聞かせや紙芝居、歌など多彩な活動に多い時は300人が参加。「いつも楽しげな子どもたちの表情が広がる」(野林恵利子同育成部会長)といい、子どもたちの情操教育に貢献している。

—災害時の救出作業の協力協定を結んでいます—

◇災害時協力企業・事業所◇

株式会社北川鉄工建設・葵クレーン(朝田) 宝石油株式会社
 中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社
 さくらテラス(立田) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組
 有限会社安達建設(和屋) 鈴木農産・南橋本電機・奥村農産
 (上七見) 東部建設株式会社(下七見) 第一産業株式会社
 (新屋敷) 有限会社松井工務店・榊産業有限会社・エムエフマ
 ツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工(古井)
 小林ファームライスセンター(佐久米)
 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機
 センター(大宮田)